

広域連携等の府内先進事例 ①

◆ 福知山市水道事業等における包括的民間委託

平成31年4月から、施設の運転管理や窓口業務など計54業務を一括で委託

- ・ 委託期間：令和元年度～5年度
- ・ 委託費：5年間で25億円（年間で約0.5億円の効果）
- ・ 委託業務：54業務（うち新たに委託化する業務は9業務）

庁舎管理、窓口・料金関係業務（検針・徴収等）、施設の監視・運転・維持・修繕、漏水調査等

水道事業の根幹となる重要な事務は直営を維持

（経営戦略、水道ビジョン・更新計画、料金改定、滞納管理、減免決定、補助金事務、事業認可・届出、水質検査、施設・管路更新、水道技術管理者の事務を含む）

包括的民間委託により期待できるメリット

- ① 市民サービスの向上
電話受付等の一元化（ワンストップサービス）
- ② 民間企業の専門性の高いノウハウの導入
民間の創意工夫による効率性の高い業務を導入
- ③ 経費の削減
包括的発注による経費の削減、業務の効率化による削減

職員体制

委託前

4課 83名

〔 総務課
お客様サービス課
水道課、下水道課

正職員 62

嘱託 13, 臨職 8



委託後

3課 59名

〔 経営総務課
水道課
下水道課

正職員 51

嘱託 4, 臨職 4

広域連携等の府内先進事例 ②

◆ 北部圏域における広域連携等の取組状況

○ 広域連携ワーキングの設置、検討の状況

市民、議会の理解が得られるまでは、民営化や料金統合、経営統合を行わないことを共通認識とし、有効と判断される広域連携事業等について検討を進め、年度内に一定の報告を目指す

① 広域連携ロードマップ検討ワーキング

- ・各市町水道事業の抱える課題のまとめ
- ・広域連携による課題解決の手法と効果の数値化検討

② システム統合検討ワーキング

- ・当面、財務会計と料金徴収システムについて検討
- ・水道標準プラットフォームの活用を検討

③ 短期的に取り組める内容検討ワーキング

- ・電力の共同入札、資材の共同購入の検討
- ・研修会の共同実施、各種マニュアル等の情報共有

○ 窓口等業務委託の共同発注

舞鶴市、宮津市の共同で公募型プロポーザルを実施し、共同審査により委託先を決定

(委託業務内容)

窓口業務、開閉栓業務、検針業務、調停業務、
収納業務、滞納整理業務

(期間)

令和2年度～5年度（4年間）

(委託額) 2市合計、4年総額

3億1,902万円 提案見積限度額 3億9,000万円

(契約)

決定した委託先とは、各市が個別に契約

(事業者提案によるサービスの向上)

① 受付窓口の広域化

(手続きが舞鶴市でも宮津市でも可能に)

② フレックスタイム導入による受付時間の拡充

③ Web受付による利便性向上

広域連携等の府内先進事例 ③

◆ 亀岡市から南丹市への水道用水供給

- ・ 南丹市の大藪浄水場が老朽化のため、更新が必要（約15億円）
- ・ 南丹市から亀岡市に、隣接する千代川浄水場からの給水の可能性を打診
- ・ 亀岡市で検討の結果、給水可能と判断され、協議を開始
- ・ 平成31年1月に基本合意書を交わし、6月に両市議会へ協定書案を提案、議決
- ・ 令和元年6月に基本協定締結式を実施
- ・ 用水供給のための管路敷設費用は、南丹市が負担（約4～5億円）

➡ 令和3年度内の供給開始を目指す

